

- (1) **to**
want + 人 + to + 動詞の構文で、「彼女は私が金曜までにプロジェクトを終わらせることを望む」という意味です。
- (2) **to**
tell + 人 + not to + 動詞の否定形で、「校長は学生たちに騒がないように言った」という意味です。
- (3) **to**
ask + 人 + to + 動詞の構文で、「父は私に妹の面倒を見るように頼んだ」という意味です。
- (4) **to**
advise + 人 + to + 動詞の構文で、「医者には彼にすぐに禁煙するよう勧めた」という意味です。
- (5) **to**
want + 人 + to + 動詞の構文の否定文で、「私は彼女が私について心配することを望まない」という意味です。
- (6) **to**
warn + 人 + not to + 動詞の否定形で、「コーチは選手たちに不注意にならないように警告した」という意味です。
- (7) **She wants me not to tell anyone.**
「彼女は私が誰にも言わないことを望む」という意味になります。want + 人 + not to + 動詞の構文です。
- (8) **He asked me not to wait for him.**
「彼は私に彼を待たないよう頼んだ」という意味になります。ask + 人 + not to + 動詞の構文です。
- (9) **Her mother wants her to come home early.**
「彼女の母親は彼女が早く家に帰ることを望む」という意味になります。want + 人 + to + 動詞の構文です。
- (10) **ア**
tell + 人 + to + 動詞の構文が正しいです。アが最も自然な表現です。
- (11) **ア**
ask + 人 + not to + 動詞が正しい否定形の構文です。アが最も正しい表現です。
- (12) **ア**
want + 人 + to + 動詞は「～が～することを望む」という意味で、望みや願いを表します。
- (13) **イ**
warn + 人 + not to + 動詞の構文で、否定形を使います。イが最も自然で正しい表現です。
- (14) **He asked me not to tell anyone the secret. / He asked me not to tell the secret to anyone.**
ask + 人 + not to + 動詞の構文を使います。秘密を「誰にも言わない」という否定形を表現します。
- (15) **My parents want me to become a doctor. / My parents want me to be a doctor.**
want + 人 + to + 動詞の構文を使います。「医者になる」は become a doctor または be a doctor で表します。